

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
阿見中央地区

平成26年 12月

茨城県阿見町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	住環境に関する満足度	%	71.9	74.9	83.9	確定 ● 見込み ○	○	あり	なし	—	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる 地元の意向を踏まえながら生活道路の整備や防犯カメラの設置等を実施したことで、住環境に関する満足度につながった。
指標2	公園整備に関する満足度	%	62.6	65.2	77.4	確定 ● 見込み ○	○	あり	なし	—	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる 住民参加によるワークショップにより、地元の方々の意見が反映され、地域のニーズにあった公園づくりが行われ、公園整備に関する満足度につながった。
指標3	観光客数	人/年	57,935	100,000	65,631	確定 ● 見込み ○	△	あり ●	なし ●	60,670	平成26年4月	△	震災等の影響により一時的に来場者数が減少したが、近年増加傾向にある。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる 歴史伝承施設として総合的に整備し、活力ある地域の振興につながった。一時的に来場者が減少したが、近年は回復傾向にある。
指標4						確定 ● 見込み ○		あり ●	なし ●				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	イベント数	回/年	1	/	34	確定 ● 見込み ○	/	/	/	32	平成26年4月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる 歴史的伝承拠点として総合的に整備し、特別展や講演会、学習会等のイベントを積極的に開催したことで、活力ある地域の振興につながった。
その他の数値指標2				/	/	確定 ● 見込み ○	/	/	/	/	/	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる
その他の数値指標3				/	/	確定 ● 見込み ○	/	/	/	/	/	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公園の良好な環境維持の継続	公園里親制度を活用した地域と連携した公園管理。	地域と連携した環境美化の推進が図れた。	引き続きワークショップ等を活用し、地域のニーズにあった公園づくりを目指す。
	歴史・文化施設を活用した地域振興	茨城県内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校又は高等専門学校に在籍する児童又は生徒が、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合は無料となる措置を実施している。展示内容の解説や元予科練生の講話等を行い、予科練の時代を知ってもらうことを通した平和学習を行っている。	町内の小中高校のみならず、茨城県内の様々な学校の生徒に来館していただいている。	引き続き、当館の観覧料の無料措置についての、県内各学校への周知の徹底を目指す。より多くの方が来館していただけるよう広報を実施する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住環境のさらなる改善	・快適な歩行環境の整備のため、ガードレールの設置や自動車注意喚起のためのカラー舗装の整備 ・阿見西部地区と合わせ、阿見中部地区として、都市再生整備計画を作成	・ガードレールやカラー舗装を実施することで、快適な歩行環境の整備が整いつつある。 ・都市再生整備計画を平成26年3月から実施中。	・引き続き、都市再生整備計画に掲げた事業を着実に進め、快適な住環境の整備を図る。
	予科練平和記念館周辺の観光施策の強化	霞ヶ浦湖畔の整備(桜堤、サイクリングロード、島津小公園)	湖畔の整備によるサイクリストや予科練平和記念館来場者の霞ヶ浦周辺利用促進。	予科練平和記念館来場後、周辺観光拠点がいないため、平和記念館を拠点としたレンタルサイクル事業等、周辺観光の強化を検討中である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
継続した住環境の改善	狭あい道路等の整備	平成27年度～	通学路等の危険個所の把握